

技術論文『都市ガス供給システムの地震防災対策と非開削工法の役割』が
2025 年度非開削技術「優秀論文賞」を受賞

東邦ガスネットワーク株式会社（社長：柴田 喜充）は、一般社団法人 日本非開削技術協会が発刊する「非開削技術」において、投稿した技術論文「都市ガス供給システムの地震防災対策と非開削工法の役割」が、「優秀論文賞」に選出されました。

受賞論文は、阪神淡路大震災（1995 年 1 月 17 日発生）から 30 年の節目を迎えたことを機に、地震防災対策（予防・緊急・復旧）※¹の軌跡について振り返るとともに、道路掘削を抑制して効率的にガス管の耐震化を実現する非開削工法※²の重要性を明示した結果、受賞に至りました。

当社は引き続き、地震をはじめとする自然災害へのハード・ソフト両面での対策と、当社の強みである非開削工法のさらなる高度化・普及拡大に取り組んでまいります。

※ 1 「安全への取り組み 大規模地震に備える 3つの対策」<https://www.tohogas.co.jp/nw/corporate/safety/>

※ 2 「非開削工法の導入」https://www.tohogas.co.jp/nw/corporate/efficiency/new_work-01/



〈本受賞内容の概要〉



〈表彰式の様子〉